

No.	推薦を受けた者								推薦をした者							
	ふりがな 氏名	性別	年齢 ※推薦時	職業	経歴		農業経営の状況		認定農業者 の有無	名称	代表者の氏名	目的	構成員の数	構成員たる資格	農地利用 最適化推 進委員へ の推薦の 有無	推薦の理由
					年月日	職名・役職等	営農類型	耕作面積等								
1	やまだ としあき 山田 利昭	男	66歳	農業	S53.3 S62～現在 S63～H8 H7～H8 H8 H14～H25 H31～ R2～	県立三本木高校卒業 農業就農 農協青年部 農協青年部長 県農協青年部副委員長 J A十和田おいらせ野菜振興会役員 青森県農業経営士 十和田市農業委員会委員	水田 ねぎ 大豆 そば 産直用野菜（かぼちゃ、とまと、きゅうり、なす他）  ・土作りに心がけて減農薬、減化成肥料にしている ・ミネラル栽培に心がけている	30a 30a 200a 250a 50a	有	切田財産区議員協議会	代表 小笠原 健一	地域の融和と活性化及び協調心の醸成	9人	切田財産区議会議員	無	不安定な農業情勢等、さらに後継者不足となり、農地が耕作されなくなって遊休化が進んでいます。 これからは農地の適正利用と集約化、担い手の掘り起し等、問題が山積となっています。 私自身就農30年あらゆる組織に係わりながらやってきました。 農業委員となって6年、もっと知識を吸収し、知恵を出し、十和田市の農業の発展に少しでもたずさわりたいと応募することになりました。 まだまだ学ぶことがあると思いますが頑張りたいと思います。
2	たちざき かずとし 立崎 和寿	男	65歳	農業	S53.3 S53.4～H16.3 H17.4～H26.3  H17.5～H22.5 H18.1～H20.3  H20.4～H20.12  H20.4～H26.3  H20.12～R2.11 H26.4～ H29.7～R2.7 H31.4～ R2.7～	青森県立三本木高等学校卒業 田中商工働働務 南部地域農業共済組合損害評価会委員 認定農業者認定 十和田市農業協同組合稲作振興会大深内支部副支部長 十和田おいらせ農業協同組合稲作振興会大深内支部副支部長 十和田おいらせ農業協同組合青色申告部会部会長 砂土路川土地改良区総代 立崎転作営農組合副組合長 十和田市農地利用最適化推進委員 砂土路川土地改良区監事 十和田市農業委員会委員	米作 にんにく ごぼう  有機肥料、低農薬でこだわり作物の栽培に取り組み、安心安全良味の生産を心掛けている。	95a 60a 60a	無	立崎町内会	会長 立崎 享一	うるおいとまとまりのある地域づくりの推進	140名	立崎町内会に在住する住民	無	立崎和寿氏は十和田市農業委員会委員として2期目であり担い手への農地集積、集約化や遊休農地等の解消などに積極的に取り組んでいます。 また、地域では、転作営農組合や環境保全会の役員を経験するなど信望も厚く、現在もなお地区の重鎮として活躍中です。 以上の理由により、この度の十和田市農業委員会の委員に推薦いたします。
3	やまざき せいいち 山崎 誠一	男	81歳	農業	S38.3 S38.4～ S56.6～ H9.6～H17.7 H10.9～ H22.9～ H14.3～R3.2 R3.3～ H19.5～ H26.8～ H27.2～	青森県立三本木農業高等学校卒業 農業従事 十和田市農業委員 十和田市農業委員会会長 稲生川土地改良区理事 稲生川土地改良区副理事長 十和田市水稲採種組合組合長 十和田市水稲採種組合顧問 元町営農組合組合長 十和田市農政審議会委員 元町転作集団（4集団）統括代表	水稲（種子） 水稲（主食用） 水稲（飼料用） にんにく にんにく（種子）自家用 自家消費野菜  雇用状況述べ人数	750a 150a 470a 150a 20a 10a  150人	無	元町町内会	会長 野村 法彦	町内活性化に向けた維持活動。相互の親睦活動他	450名	地域住民（町内居住）	無	就農以来、専業農家として仕事のかたわら、農協青年部活動、町内会役員、青年団、PTA活動等に参加、取り組み、組織の発展に尽力する。 また地域にあっては、多くの農業団体等に長年関わり、リーダーとして指導力を発揮する。 農業に対する情熱は今も変わらず、次の世代へ継ぐべく、今までの経験、力量から適格な助言をし、地域住民よりの信頼は大である。 従って十和田市の基幹産業である農業の持続的発展に最適任者として推薦致します。

No.	推薦を受けた者								推薦をした者							
	ふりがな氏名	性別	年齢 ※推薦時	職業	経歴		農業経営の状況		認定農業者の有無	名称	代表者の氏名	目的	構成員の数	構成員たる資格	農地利用最適化推進委員への推薦の有無	推薦の理由
					年月日	職名・役職等	営農類型	耕作面積等								
4	せきかわ あきら 関川 明	男	68歳	農業・一般社団法人ドローンイノベーションネットワークワーク代表	S51.3 H3.1～ H29.7～R5.7 H30.7～ R3.7 R4.11～	中央工学校第1学部測量科卒業 狩猟と農林畜産被害防止のため猟友会入会 農地利用最適化推進委員、同互助会会長 (一社)ドローンイノベーションネットワーク代表理事 新規就農 十和田市スキー協会会長	約45年の長きに渡り建設業に携わり、主に農用地基盤整備、農業用排水路、水路トンネル等農林事業と密接に係わってきました。その中において、農業の推進、継続、改革を含めたノウハウを実践し、農業者と共に歩んで参りました。 令和3年7月より、就農者として水田31,671㎡の作付けと、畑10,991㎡の作付けを営農しております。日々苦戦しながらも農作業への意欲も増し、今後更に付加価値を付けた農産物の生産を考えているところです。農地利用をもっと前面に押し、集積、集約化、遊休農地の発生防止、新規就農者の推進をしている現在です。	水稲 畑 316.71a 109.91a	無	一般社団法人青森県猟友会十和田市支部	支部長 小林 春雄	良識あるハンターをもって組織し、ハンターとしての狩猟道徳の向上、会員相互の親睦、鳥獣の保護増殖、有害鳥獣駆除（捕獲）及び狩猟についての健全な知識を目的	64名	狩猟登録者証の申請並びに交付を受ける要件を有する狩猟者で組織する団体であって会員となった者をもって構成する。	有	平成29年7月より農地利用最適化推進委員に6年余り「食糧・農業・農村」において高い食料自給率を上げ、さらに農産物に付加価値を付け、農家の収益力を高め、後継者も含めた若者の就農が増える施策をしていかなければ衰退していく様に強く感じています。 そのため、自分自身が就農者となり十和田市の農業の現状を肌で感じながら営農し、今何が必要なのかを諸先輩と共に取り組んできた現在があります。 その中で、今までは農業委員会、農業委員に頼っている部分が多々ありましたが、今後は自らが積極的にその中で一筋になり微力ながらこの地域ならではのブランド化をより多く開発、生産、広報を含めた一連のネットワーク作りをしながら、農地利用の最適化、集積、集約化さらには遊休農地の発生防止、解消、新規参入の促進に向け、先頭立って寄与できればと。特に居住している地域は、農業と市街化が混在している場所でもあり、自分でなければ問題解決を含めた農業推進は難しいとの強い思いで応募しました。更には近年非常に問題とされている鳥獣被害による農林畜産への対応も猟友会35年の経験と狩猟指導員としての実績を持って被害防止対策と現場指導も併せて推進していきたいです。
5	おがさわら まつとし 小笠原 松寿	男	66歳	農業	S52.3 S52.4～S62.3 S62.4～H31.3 H15～ H31.4～	青森県立十和田工業高校卒業 ㈱大森電器製作所 コンビニエンスストアサークルKノースジャパン 農業兼業 農業専業	主食用水稲 西洋野菜	143a 20a	無	泉田町内会	会長 古舘 専一	会員の相互扶助並びに福祉の向上、環境整備改善を図る	35名	町内住民	無	小笠原松寿さんは会社勤務を経て兼業農家、専業農家となりました。従って彼は農業者の視点だけではなく、他業種から農業をみる視点を有しております。 且つ、彼は現在泉田地域保全隊の代表者も努め、地域住民の人望も厚く、農業委員として相応しいと思われ推薦致します。